

神秘学派とバラ十字会

バラ十字思想（1614年～現代）

Rosicrucianism

バラ十字会の3つの宣言書、『バラ十字友愛団の声明』、『バラ十字友愛団の信条告白』、そして『クリスチャン・ローゼンクロイツの化学的結婚』はそれぞれ、1614年、1615年、1616年に公表され、バラ十字の伝統がヨーロッパにその姿を現しました。その当時ヨーロッパでは、宗教的、政治的、社会的な対立による混乱が続いていて、大勢の人々が、**その時代の迷信と宗教的な不寛容を取り除くための「新たな改革」**を待ち望んでいました。これらの一連の宣言書は、「チュービンゲン・サークル」

(Tubingen Circle) によって書かれたことはほぼ確実です。この集まりは30人のドイツ人の学者と研究者からなり、錬金術、秘伝主義、カバラ、占星術、ナオメトリー (naomerty)、キリスト教神秘主義の探究に心血を注いでいました。一連の宣言書は相当な成功を収め、ヨーロッパ中に広まりました。当時の多くの哲学者がこのメッセージに気づき、中でも**フランシス・ベーコン卿**とジョン・アモス・コメニウスは、かなり頻繁にこれらの宣言書について述べていました。**1623年には、バラ十字会員がパリ市内の壁に貼り紙**をし、「バラ十字の兄弟たち」が市内に「見える状態でも、そして見えない状態でも」滞在していると告知しました。今日、バラ十字会は、バラ十字思想の伝統を継承し、世界中に広めています。



『バラ十字友愛団の声明』の表紙

([バラ十字会日本本部](#))